

みなみかぜ

～ 安全で安心できる学校をつくるために ～

令和5年度
託麻南小学校
生徒指導だより
2023年9月
第3号
文責 奥添

<9月の生活目標>

『思いやり、バトンをつなぐ「トイレのスリッパ」』

はきものをそろえると ころろもそろろう

誰かのために、何か善いことをするというのは、意外と難しいことかもしれません。でも、実は学校生活の中で、短い時間でお手軽に実践できる善いことがあるのです。それは『スリッパならべ』です。トイレはみんなが利用します。自分が使ったスリッパは、次は他の誰かが使うこととなります。その時に気持ちよく使ってもらえるように、心を込めてスリッパを並べておきたいものですね。ここでみなさんに、一つの文章を紹介したいと思います。

はきものをそろえると
ころろもそろろう
ころろもそろろう
はきものもそろろう
ぬぐどきにそろえておくと
はくどきに心がみだれない
だれかがみだしておいたら
だまってそろえておいてあげよう
そうすればきっと
世界中の人の心もそろおうでしょう



この言葉は長野市にある円福寺のご住職の言葉です。スリッパの乱れは心の乱れだともいわれています。みんなが安心して安全にらせる学校にするためにも、まずは足元から思いやりの輪を広げていきたいものですね。9月の生活目標は『思いやり、バトンをつなぐ「トイレのスリッパ」』です。

忘れ物ゼロで学校生活を楽しもう！

2学期がスタートして3週間ほど経ちました。子どもたちは少しずつ学校でのリズムを取り戻してきているようです。中には、忘れ物をしてしまい、先生から借りたり、友達から教科書等を見せてもらっていたりする子もいます。忘れ物をして一番困るのは自分自身です。前の日から時間割をしっかりと見て、慌てずに“忘れ物ゼロ”で学校生活を送りましょう。

また、おうちの人には「明日〇〇がいるけん！」と夜に言われても困りますよね。用意してもらわないといけない物は早めに伝えておいてほしいものです。



安心できる場の基本は「聞く」こと

話を「聞く」指導は、「しつけ」ということとは少し違うと思っています。聞くというのは、心の動きや意志が大きく関わってくるものだからです。スーパーなどに行って、店内のBGMが「聞こえてはいても、聞いてはいない」ですよ。つまり「聞く」ということは「聞こう」とする気持ちが大きく関係しています。ですから、「聞いてもらえる」という安心感は、何よりもその場において大切なものになります。「聞く」ことは相手を受け止めるということです。このクラスなら安心して話せると思わせるためには、まずは「聞く」ことの大切さを伝えていく必要があるかもしれません。

もしもご家庭で、お子さんが「ねえ、今日学校でね…」と話を始めたら、ご多用だとは思いますが、少し手を止めて「聞こう」という気持ちで耳を傾けていただけたらと思います。

注意！子ども同士の

⚠️お金のやりとり⚠️

私が子どもの時は、もらった100円玉を持って近所の酒屋さんに駄菓子を買に行っていました。ピッタリ100円になるように、あれこれ組み合わせさせていたものです。時代が



変わり、子どもたちにとってのお金の価値観や、使い方が変わってきているように感じています。例えば、「課金」です。スマホやタブレット上で購入していますので、お金を使った実感がなかなか持てません。また、おうちの人のクレジットカードで多額の課金を行いトラブルになったという報告もあっています。また、コンビニに行けば数千円のプリペイドカードが販売されています。これらを友達に買ってあげたり、買ってもらったりしている事案も近隣校であっているようです。

お金や物のやり取りはトラブルのもとです。友達との関わりの中で、おごったり、おごられたりということがないように、ご家庭でも声かけをお願いいたします。上手にお金と付き合っ、お金を管理していけるようになってほしいです。

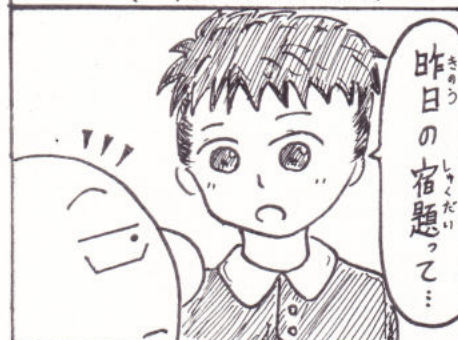
《最近の託南キラリ》

☆帽子をかぶって登校してくる子たちばかりになりました！いつも声かけありがとうございます。まだまだ残暑が厳しいので、引き続き熱中症対策として帽子の着用と水筒の持参をお願いします。

忘れ物



★託南ノンフィクション劇場★



そもその話。